

11月9日 (土)

【第 1 セッション】 10:00-12:00

A-1-1 【GS】 科学技術思想・民主主義

- 林 真理 (工学院大学)
「高度安全実験施設と民主主義」
- 吉野 太郎 (関西学院大学)
「科学者の社会的責任にかかわる実践と民主主義 — 「物理学者の社会的責任」シンポジウムを題材に—」
- 八巻 俊憲
「武谷三男の科学技術思想と STS」
- 菱木 風花 (東京工業大学)
「1939 年から 1949 年における日本の物理学者の科学と社会の関係に対する問題意識について：湯浅年子の著作から」

C-1-1 【OS】 科学技術人材のダイバーシティ研究 (GEAHSS 連携 OS)

- オーガナイザー：小川 眞里子^{1,2} (三重大学¹, 東海ジェンダー研究所²)
- 小川 眞里子^{1,2} (三重大学¹, 東海ジェンダー研究所²)
「日本における STEMM 分野の女性人材の歴史」
 - 隠岐 さや香 (名古屋大学)
「ジェンダーと社会科学：比較対象としての経済学」
 - 横山 広美, 一方井 祐子 (東京大学 Kavli IPMU)
「物理、機械工学等の男性イメージキーワード分析ほか～JST-Ristex2 年目の成果より～」
 - 井上 敦 (NIRA 総合研究開発機構)
「ジェンダーステレオタイプと専攻分野選択」
 - 渡部 麻衣子 (自治医科大学)
「イギリスの Medical School Council におけるジェンダー平等に関する取り組み」

D-1-1 【OS】 培養肉の ELSI を考える

- オーガナイザー：三村 恭子 (国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター)

三村 恭子（国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター）
「培養食肉の ELSI 検討の必要性」

濱田 志穂（国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター）
「培養食肉研究の今と今後の課題」

三井 広大（日本科学未来館）
「培養食肉の社会受容性調査—未来館オピニオンバンクの結果より」

ディスカッサント：柄本 三代子（東京国際大学）

ディスカッサント：吉田 省子（北海道大学大学院）

ディスカッサント：平川 秀幸（大阪大学 CO デザインセンター）

【第 1 セッション】 11:00-12:00

B-1-1 【GS】 イメージ

○片岡 良美¹, 川本 思心²（北海道大学大学院理学院¹, 北海道大学大学院理学
研究院²）

「科学論における図像の機能—写實的／思考的図像の連続性の検討」

○吉岡 有文（立正大学）

「音響学者・色彩学者 田口柳三郎の足跡と彼の音響観・色彩観」

【第 2 セッション】 13:00-14:30

A-1-2 【GS】 協働・コミュニケーション

○種村 剛（北海道大学 CoSTEP）

「演劇の専門家による「対話劇」を用いた「科学技術の社会実装についての熟議
の場」の創出～対話劇「私たちが機械だった頃」を事例として～」

○齋藤 芳子（名古屋大学）

「アマチュア科学を分析する枠組みの検討」

○天野 麻穂, 片岡 良美, 川本 思心（北海道大学）

「文理融合プロジェクトを維持させるコミュニケーション～「信頼」に着目して
～」

B-1-2 【GS】 災害・防災

○寿楽 浩太（東京電機大学）

「原子力分野における政策の「構造的無知」の批判的ケーススタディ：高レベル
放射性廃棄物、原子力防災、「自主的安全」

○岸川 丈流（大阪大学）

「天神丸周辺地域の風力発電施設立地をめぐる反対運動」

○安井 あり紗³, 菊地 乃依瑠¹, 森川 想^{1,2} (政策研究大学院大学¹, 東京大学大学院², 東京大学³)

「地震動予測と防災- 自治体と民間企業のBCP策定からの考察-」

D-1-2 【GS】 ロボット・AI・RRI

○小林 俊哉 (九州大学)

「STS ステートメントの有効性をRRIの観点から検討する」

○水上 拓哉^{1,2,3} (東京大学¹, 日本学術振興会², 理化学研究所革新知能統合研究センター³)

「コミュニケーションロボットの倫理における道徳的行為者性概念の拡張の妥当性について」

○坂田 成実, 神里 達博 (千葉大学)

「日本の「AI政策」の内実 政策過程の俯瞰的検討」

【第2セッション】13:30-14:30

C-1-2 【GS】 ジェンダー

○一方井 祐子, 横山 広美 (東京大学)

「女性の数物系進学に影響を与える要因についての日英比較」

○五十嵐 美樹 (東京大学大学院)

「Out-of-School TIME Engineering Programs for Femalesにおけるロールプレイの導入と女子の工学進学を阻む要因に与える影響」

11月10日 (日)

【第1セッション】8:50-10:50

A-2-1 【GS】 研究開発

○小野田 敬¹, 伊藤 泰信² (理化学研究所¹, 北陸先端科学技術大学院大学²)

「自然科学研究所において実践する問題解決志向のエスノグラフィ」

○入江 信一郎 (京都工芸繊維大学)

「イノベーションを動的に理解しうるアクターネットワーク理論 (Actor Network Theory) の「翻訳 (translation)」概念の可能性」

○青柳 みどり (国立環境研究所)

「新たな技術開発の方向性: Mission oriented, Challenge-led technology」

○渡邊 康平, 神里 達博 (千葉大学)

「Crowd-Supported Science の「質保証」に関する検討」

B-2-1 【OS】 福島「県民健康調査」検討委員会は科学的か (仮)

オーガナイザー：林 衛 (富山大学)

○林 衛 (富山大学)

「トランスサイエンス論を準用 (誤用?) した科学のねじ曲げ (仮)」

○藤岡 毅 (大阪経済法科大学)

「福島県県民健康調査」検討委員会をアグノトロジーの視点で検討する (仮)」

○種市 靖行 (桑野協立病院)

「東京電力福島第1原発事故後の甲状腺検査に関して一検査にかかわる医師の立場から」

ディスカッサント：柿原 泰 (東京海洋大学)

ディスカッサント：土井 妙子 (金沢大学)

C-2-1 【OS】 対論型サイエンスカフェ「ロマンは公的有人月探査を推進する理由になるか？」

オーガナイザー：吉永 大祐 (早稲田大学)

○一方井 祐子 (東京大学)

「事前説明 (方法紹介)」

○吉永 大祐 (早稲田大学)

「企画補助1」

○呉羽 真 (大阪大学)

「企画補助2」

ディスカッサント：磯部 洋明 (京都市立芸術大学)

ディスカッサント：玉澤 春史 (京都市立芸術大学)

D-2-1 【OS】 生命科学分野における倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) への取り組み

オーガナイザー：見上 公一 (慶應義塾大学 理工学部)

横野 恵 (早稲田大学 社会科学部)

「本邦の科学技術・学術政策における ELSI の位置付け」

八代 嘉美 (神奈川県立保健福祉大学 イノベーション政策研究センター)

「日本再生医療学会を中心とした実用化促進の取り組み」

三成 寿作 (京都大学 iPS 細胞研究所)

「ゲノム情報の科学的・社会的含意に関する整理と検討」

見上 公一（慶應義塾大学 理工学部）

「Human Practices の理念と実情」

【第 2 セッション】 11:00-12:30

A-2-2 【OS】 オープンサイエンス・市民科学・サイエンスカフェ・SDGs

オーガナイザー：島田 久美子（常葉大学）

高瀬 堅吉（自治医大）

「シチズンサイエンス」

上田 昌文（市民科学研究室代表）

「市民科学」

○島田 久美子（常葉大学）

「オープンサイエンス・市民科学・サイエンスカフェ・SDGs」

E-2-2 【大会実行委員会企画 OS】 技術についていかに問うるか—技術論の視点から科学技術倫理を問い直す

オーガナイザー：金光 秀和

齊藤 了文

比屋根 均

鈴木 俊洋

【第 3 セッション】 13:30-15:30

A-2-3 【GS】 科学技術と地方行政

○横山 広美，一方井 祐子（東京大学 Kavli IPMU）

「超大型科学：国際リニアコライダー計画（ILC）の認知度調査から見える課題」

○菅原 風我（東京大学大学院学際情報学府）

「地域から見た大型科学と「熱狂(hype)」の形成—素粒子物理学の実験施設「国際線形加速器(ILC)」の誘致の事例から—」

○定松 淳（東京大学）

「福井県「エネルギー研究開発拠点化計画」の分析——高速増殖炉「もんじゅ」の位置づけを起点として——」

○鈴木 千賀（九州大学）

「水産政策の動向と赤潮対策の是非」

B-2-3 【OS】 害虫・農薬・環境の倫理学 —「虫を管理する技術」をいかに評

価値するべきか？—

オーガナイザー：鈴木 俊洋（崇城大学 総合教育センター）

○藤木 篤（神戸市看護大学）

「害虫防除を巡る技術と思想 —IPM(総合的有害生物管理)と遺伝子ドライブを主軸に一」

○藤原 厚作（京都大学）

「水稲作における害虫防除技術の変遷 —虫に対する農家の認識に着目して—」

○寺本 剛（中央大学）

「隔離と順応」

ディスカッサント：鈴木 俊洋（崇城大学 総合教育センター）

C-2-3 【OS】 人工知能が浸透する社会を考える WS2019

オーガナイザー：江間 有沙（東京大学）

○江間 有沙¹, 服部 宏充², 大澤 博隆³, 神崎 宣次⁴（東京大学¹, 立命館大学², 筑波大学³, 南山大学⁴）

「「安心して炎上できる場所」の構築」

○服部 宏充（立命館大学）

「AI をめぐる議論の変遷と課題」

○吉添 衛, 服部 宏充（立命館大学）

「AIR-VAS システムと「多様な価値」への気づき」

D-2-3 【OS】 「脱炭素社会」への転換は生活の質に対する脅威か、機会か—模倣的市民陪審の結果から考える—

オーガナイザー：三上 直之（北海道大学）

三上 直之（北海道大学）

「「脱炭素社会への転換と生活の質に関する市民パネル」の概要とその結果が指し示すもの」

江守 正多（国立環境研究所）

「「脱炭素社会と生活の質」市民パネルにおける意見分布・意見変容および情報提供の役割」

池辺 靖（日本科学未来館）

「「脱炭素社会」に関する議論の内容分析から見える市民の文脈～世界市民会議との比較を中心に～」

松浦 正浩（明治大学）

「ミニ・パブリックスの議論にみるトランジションの可能性」

ディスカッサント：木原 浩貴（京都府地球温暖化防止活動推進センター）

【第 4 セッション】 15:40-17:40

A-2-4 【GS】 生命科学

○標葉 隆馬 (成城大学)

「ゲノム編集と再生医療の報道比較分析－「期待」を巡る言説に注目して」

○西 千尋, 藤垣 裕子 (東京大学)

「日本とイギリスの中等教育教科書で議論される分子生物学の ELSI、RRI」

○筒井 晴香 (東京大学)

「先端的脳科学研究に関する社会的合意形成のための市民対話ワークショッププログラムの開発」

○渡部 麻衣子 (自治医科大学)

「Nuchal Translucency を捉える視覚の生成 - 科学知と技術と社会の交点」

B-2-4 【OS】 後藤邦夫先生追悼セッション：その活動と科学技術社会論

オーガナイザー：塚原 修一 (関西国際大学客員教授)

○桑原 雅子 (学術研究ネット)

「A Wandering Scholar：後藤邦夫の生涯と思索の軌跡」

○田中 一郎 (金沢大学名誉教授)

「物理学史家としての後藤邦夫先生」

○綾部 広則 (早稲田大学)

「後藤邦夫先生と科学技術社会論」

○塚原 修一 (関西国際大学客員教授)

「後藤邦夫先生と科学技術の社会史」

ディスカッサント：川野 祐二 (公立大学法人 下関市立大学)

C-2-4 【OS】 対話を超えて：「科学と社会の対話」をめぐるリフレクション

オーガナイザー：内田 麻理香 (東京大学大学院)

○尾内 隆之 (流通経済大学)

「専門知をめぐる行政的合理主義と民主的対話の相克」

○原 塑 (東北大学)

「ワインバーグ vs. ウィン：ウィン『合理性と儀礼』をめぐる」

○水島 希 (総合研究大学院大学)

「市民科学からみる「対話」と「公衆の関与」」

ディスカッサント：内田 麻理香 (東京大学大学院)

D-2-4 【OS】 地球規模かつ超長期の複合リスクをめぐる熟議の場の設計—気候変動対策に関する市民陪審を事例として—

オーガナイザー：八木 絵香（大阪大学）

岩崎 茜（国立研究開発法人 国立環境研究所）

「市民の言葉を“正しく”選ぶファシリテーションとは」

八木 絵香（大阪大学）

「地球規模かつ超長期の複合リスクをめぐる熟議とファシリテーション」

工藤 充（大阪大学）

「ファシリテーション実践の省察から「市民参加」の意味を再考する」

田村 哲樹（名古屋大学）

「地球規模かつ超長期の複合リスクをめぐる熟議的ガバナンスの中でのミニ・パブリックスの意味」